

学校 教育 目標	<p>「ともに生き生き ともににこにこ 別所の子」～子どもが主役の学校づくり～</p> <p>○主体的に学び、めあてに向かってねばり強く取り組もうとする子を育てます。(知)</p> <p>○礼儀や規律を大切に、自他を認め合おうとする子を育てます。(徳)</p> <p>○規則正しく健康で安全な生活を送ろうとする子を育てます。(体)</p> <p>○自分の周りや地域に目を向けて、人のために進んで役立とうとする子を育てます。(公)</p> <p>○日本の文化や伝統を大切にし、様々な人とのコミュニケーションを通して相互理解しようとする子を育てます。(開)</p>				
	創立 47 周年	学校長 大島 宏二	副校長 山中 智恵	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 6
学校概要	児童生徒数: 546 人		主な関係校: 南が丘中学校・六ツ川中学校		

<p>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</p>	<p>南が丘中 ブロック</p>	<p>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</p>
<p>・問題発見・解決能力</p> <p>・心身ともにたくましく生きる力</p>	<p>南が丘中学校 南小学校 別所小学校</p>	<p>他とのかかわりを大切に、主体的に取り組む子</p> <p>【中学校ブロックの具体的な取組】</p> <p>「授業」のつながり = 各教科等の学習の充実 「人」の「つながり」 = 人権教育 「学びの場」のつながり = 小中一貫教育</p> <p>授業研究、公開授業、授業交流、 あいさつ運動、生徒児童の交流 小学生の部活動への交流、食育への取組 地域行事への参加、国際理解教育、 体験学習、キャリア教育</p>

<p>中期 取組 目標</p>	<p>○学校教育目標実現のために、全教職員が「チーム別所」の一員として学校経営に参画し、活力ある学校づくりを目指します。</p> <p>①「かけがえのない一人ひとりが大切にされる、居場所のある学校づくり」を具現化し、自己有用感を高め、地域・家庭と連携して、誰もが安心して学び、生活できる学校、学級づくりをします。</p> <p>②一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。</p> <p>③教職員の指導力、人間力向上と協働でチーム力を高めるための人材育成と組織活用に取り組みます。</p>
-------------------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①国語の重点研究に取り組み、話し合い活動等を通して思考力・判断力・表現力の育成を目指し、主体的に取り組む子の育成を目指します。 ②家庭学習、朝学習、授業内の反復練習・スキル学習等の実践により基礎基本の定着を図ります。
担当	確かな学力部	
徳	豊かな心	①道徳教育、特別活動、人権教育、縦割り活動を中心に、礼儀を大切にする態度、相手を思いやる心、社会性や自己有用感を伸ばし、好ましい人間関係を育てます。 ②横浜プログラムの全クラス実施により、学級の実態把握に力を注ぎ、豊かな心の育成につなげます。
担当	豊かな心部	
体	健やかな体	①体力健康意識向上のために「なわとび」に取り組んだり、学校保健委員会を開催したりします。 ②心と体の健康を守り、望ましい生活習慣を身に付けられるようにするために、家庭や外部機関と連携を図った体育・保健・食育教育を実践します。
担当	健やかな体部	
公開	地域連携 学校運営協議会	①地域の人的・物的資源を活用した学習活動がさらに推進できるように近隣校と情報を共有し連携を図り進めていきます。 ②学校運営協議会で話し合われたことを、学校HP、学校説明会などを通して、地域や保護者に向けて発信し、まちとともに歩む開かれた学校づくりを進めていきます。
担当	教務部・健やかな体部	
いじめへの対応		①いじめを早期発見し組織的な対応を図ると共に、未然防止の取組を保護者地域に発信し、連携・協力を図ります。 ②心理・行為・行動の背景にある児童の人間関係を捉える力を高める教職員研修(横浜プログラム全クラス実施)を行います。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成 組織運営(働き方)		①知徳体の3部会に加え、新たに重点研究と児童指導、GIGAの3推進委員会を設け、職員全体で組織を支え、学校運営に参画するようにしていきます。 ②メンターチームメンバー等の経験の浅い教職員の不安や疑問をミドルリーダーがファシリテーターとなって支援していく体制を整えます。
担当	教務部・メンターチーム	
担当		